



千人が最後の別れ 故 絲原義隆氏の合同葬営まれる

九月三日に八十五歳で亡くなられた元島根県議会議長、奥出雲町名譽町民、故絲原義隆氏の合同葬（本葬）が奥出雲町、町議会、郡森林組合などの企業、団体により九月十八日に町民体育館においてしめやかに執り行われました。

午後二時からの合同葬には、元内閣総理大臣竹下登文令夫人直子様、青木幹雄参議院議員、衆議院議員細田博之令夫人洋様、竹下巨衆議院議員、景山俊太郎参議院議員など島根県選出の国会議員、澄田信義知事、倉井毅県議会議長はじめ県の関係者、各界の代表者、一般の方など約千人が参列しました。

合同葬に先立ち、茶道裏千家千玄室大宗匠によりお茶の世界で最高の儀式であるお茶湯が行われご霊前にお供えされました。

また生前の功績に対して正五位の叙位が澄田知事から伝



▶ 澄田知事から叙位の伝達

達されました。

故絲原氏は仁多郡の振興発展と地元の熱い要望に応え、昭和三十四年島根県議會議員に初当選し、以来、平成十一年まで県議会上初の連続十期県議として活躍され、昭和四十四年から四十六年まで副議長、昭和四十八年から五十年まで第四十三代議長を務められ平成十一年には県議会初の特別表彰を受けられました。

また国内最大級の規模を誇る奥出雲おろちループを含む国道三一四号、四三二号、県道の改良整備、初代島根県ホッケー協会会長として全国から注目されるホッケーの町としての基盤確立をはじめ多くの

◀ 告別の辞を述べる岩田町長



町・県・全国の林野関係の要職も務められるなど、多岐にわたり多大の貢献を賜りました。

合同葬では、読経の後、岩田町長の告別の辞、各界の代表者による特別焼香、弔電の奉呈、一般会葬者の焼香などが行われました。

参列者一同は、絲原氏の遺徳をしのび最後の別れを惜しみました。

私たちは、これまでの数々のご功績を忘れることなく、絲原氏のご苦勞に応えるためこれからも立派な町づくりを努めていかなければなりません。

故絲原義隆氏の安らかなご冥福をお祈りいたします。